

「鹿児島県観光振興基本方針」（観光立県かごしま県民条例に基づく基本方針）
（案）に寄せられた御意見の概要と御意見に対する考え方について

1 募集期間：令和元年10月7日（月）～11月6日（水）

2 意見の件数：15件（11名）

3 意見の概要と県の考え方

No.	項目 (No.)	項目	頁	意見の内容	県の考え方
1	第1-1	「観光立県」の意義	1	観光業者以外にとって、観光客は住民にとってストレスであることを自覚して、施策を設定してほしい。	次期基本方針においては、取組指針の一つとして、生活環境や居住環境を含め地域の環境を守ることを掲げており、また、施策の展開例として、今回、新たに「観光公害（オーバーツーリズム）を防ぐ地域と調和した観光振興」を盛り込んでいるところです。 御意見については、次期方針に基づく施策の展開に当たっての参考にさせていただきます。
2	第3-3	数値目標	9	クルーズ船は必要ありません。客のマナー等迷惑なだけです。	クルーズ船の誘致については、「訪日クルーズ旅客を2020年に500万人」とする目標を政府が掲げ、全国的な取組が進められているところです。 御指摘の「クルーズ客のマナー等」については、これまでも、ツアーを実施する旅行会社等に対し、乗客への周知や現地での確認を要請するなどの対応を行っているところであり、今後も引き続き、必要な対策を検討してまいります。
3	第3-3	数値目標	9	観光客が自然を破壊することが予想されることを理解して、施策を設定してほしい。	御指摘の「観光客による自然破壊」については、次期基本方針において、取組指針の中で「環境保全への取組」を記載するとともに、施策の展開例として「自然環境の保全」や「環境に対する意識やマナーの普及啓発」を盛り込んでいるところです。
4	第3-3	数値目標	9	奄美地区においては、宿泊客数の適正人数を考えるべき。奄振からの補助金を調整し、高価格で来島する客の割合を増やすべき。	観光客の適正人数について、数値目標として設定することは考えていないところですが、施策の展開例として「観光公害（オーバーツーリズム）を防ぐ地域と調和した観光振興」を新たに盛り込んでいるところです。 また、次期基本方針においては、価値を高めることが重要であることから、数値目標の1番目の項目として「観光消費額」を掲げたところです。
5	第5-3-2-4	クルーズ船の誘致	27	奄美群島や種子島・屋久島をはじめ、鹿児島にはたくさんの離島があるので、クルーズ船だけでなく、鹿児島から奄美・沖縄に向かう定期船などを利用した本土と離島、離島と離島を結ぶ船旅の魅力を伝えることも観光客の増加につながると思う。	御指摘のとおり、本県は多くの離島を有しており、船旅の魅力も貴重な観光資源の一つであると考えております。 御意見については、次期方針に基づく施策の実施に際し、参考にさせていただきます。

No.	項目 (No.)	項目	頁	意見の内容	県の考え方
6	第5-3-2-1	観光客の来訪の促進等	25	観光を振興することで観光客の増加を目指すのは良いと思うが、最近、外国人客の急増により、観光地の秩序が保てなくなるといった状況が、京都などで生じているとニュースでも伝えられている。 鹿児島においても、クルーズ船が着いた時にマナーが悪いといった話も耳にするので、そのような点も考慮してバランスのとれた振興策が大事だと思う。	御指摘の「オーバーツーリズムの視点」については、極めて重要であると考えており、次期基本方針においては、取組指針の中で、「観光公害（オーバーツーリズム）が発生しないよう、事前に対策を講じる。」ことを明記するとともに、展開例として「観光公害（オーバーツーリズム）を防ぐ地域と調和した観光振興」を盛り込んでいるところです。
7	第5-3-3-2	外国人観光客の受入体制の整備	29	SNSが主流の近年、旅行で訪れる方々が必ず持ち歩く物はスマホだと思う。2020年東京オリンピック、パラリンピック開催で多くの外国人観光客も増えると思う。 県内のアプリは存在するが、これを多言語対応し1つのアプリで色々対応出来れば（フリーWi-Fiの情報、スマホなどの充電スポット、観光名所迄の交通、リアルタイムの所要時間、防災情報など…）良いと思う。	御指摘の「外国人観光客への対応」については、非常に重要であると考えており、次期基本方針においては、「全ての観光客がストレスなく快適に観光できる環境の整備」や「外国人観光客の受入体制整備」の中で、「観光客への的確な情報提供」や「公衆無線LAN環境の整備の促進」、「観光関連情報の多言語化」を盛り込んでいるところです。 御意見については、次期方針に基づく施策の実施に際し、参考にさせていただきます。
8	第5-3-2-2	スポーツキャンプ等の誘致	26	コストコ、イケア、アウトレットモールなどの商業施設が出来ると他県からの集客、経済効果が生まれると思う。フェスやレッドブルのスポーツイベントなども良いと思う。	次期基本方針においては、施策の展開例として、「多彩なイベントを活用した誘客の促進」について記載しているところです。 御意見については、今後の取組の参考にさせていただきます。
9	第5-2-2-5	大隅地域	19	大隅半島は、日中観光して、夜は鹿児島市内等に戻り宿泊というルートになりがちである。宿泊施設の新設・整備は難しく、建てたから宿泊客が増えるというわけでもない（キャバが増えるのはあるが）。 施策の方向として、食・自然・環境等の魅力を発信しながら、民泊などによる、地域の人間性、おもてなしで魅了しファンを獲得することで関係人口・交流人口の増、宿泊していただくための整備をおこなっていくというのを盛り込んではいかがでしょうか。	県では、これまでも広域ルート作成や地域の魅力的な自然・食・環境等の観光素材を生かした情報発信を行っているところです。 また、次期基本方針においては、施策の展開例として、「宿泊環境の多様化に併せて、地域の実情に応じた宿泊施設等の整備の促進」について記載しているところです。 御意見については、次期方針に基づく施策の実施に際し、参考にさせていただきます。
10	第5-3-3-6	統計調査・研究	30	与論町が制作した8Kの動画は、とても美しく、国際的な映像祭で評価されていると聞いていて、映像を見ると、観光に訪れたい、実際に行ってみてみたいと思わせる映像になっている。映像の周知では、SNSでの拡散を狙って、デジタルマーケティングの手法を活用した情報発信を行ったようである。デジタルマーケティングの重要性は今後も高まっていくと思われるので、県の観光においてもぜひ取組を進めてほしい。	御指摘の「デジタルマーケティングの取組」については、重要であると考えており、次期基本方針においては、施策の展開例として「デジタルマーケティングの実施」を盛り込んでいるところです。
11	第5-3	施策の展開	22	最近、「持続可能な開発目標（SDGs）」というキーワードを見聞きすることが多く、国を挙げて推進に取り組んでいるようであり、先日北海道で開催されたG20の観光大臣会合でも、経済成長の牽引と持続可能な開発目標（SDGs）に対する貢献という観光の役割が確認されている。このようなことから、次期「鹿児島県観光振興基本方針」でも、SDGsの観点について盛り込まれるべきであると思う。	御指摘の「SDGsの観点」については、国においても積極的に取組を進めているなど、重要な視点であると考えています。 次期基本方針においては「施策の方向」の中で「持続可能な観光地づくりの推進」を盛り込んでいるところですが、御指摘を踏まえ、施策の展開に当たっての考え方として、SDGsの観点を追記することとします。

No.	項目 (No.)	項目	頁	意見の内容	県の考え方
12	第5-3-3-5	観光旅行の安全の確保	30	沖縄県の首里城の火災はとても残念でそして大変ショックを受けたが、観光の施設、特に木造建築の火災の恐ろしさを痛感した。観光で最も重要なのは観光客の安全だということをちゃんと意識して、観光客の方々が安心して観光を楽しめるための取組を進める必要があると思う。	御指摘の「観光客の安全への取組」については、重要であると考えており、次期基本方針においても、「施策の展開」の中で、「観光旅行の安全の確保」を盛り込んでいます。
13	第5-3-2-2	スポーツキャンプ等の誘致	26	ラグビーワールドカップは、鹿児島市で事前キャンプを行った南アフリカチームが優勝し、鹿児島も大いに盛り上がった。今後は、より一層、スポーツを観光に活かすことが大事であり、強化するべきだと思う。	御指摘の「スポーツを観光に生かす取組」については、重要であると考えており、次期基本方針においては、「施策の展開」の中で、「スポーツキャンプ等の誘致」を盛り込んでいるところです。
14	第5-2-2	県内各地域の特性と施策の方向	14	私が住んでいる日置市は、島津義弘や小松帯刀を生んだ歴史に大変造詣のある町であるが、この案では日置市を含む「鹿児島地域」は「アクセスの良さを生かした誘致」だけが施策方向として書かれており、これが本当に「特性に応じた施策」といえるか疑問。隣接の地域という括りではなく、その特性に応じた地域分けはできないのか。 歴史であれば、日置市、始良、湧水町は三州同盟を結び、歴史を軸に繋がりを持っているし、南さつま市と日置市はサイクリングなどのウェルネス資源についても連携して取り組んでいる。 隣接した市と取り組むことで、フットワークの軽い、そして強固な結びつきによる施策推進も良い方法かと思うが、各地域のポテンシャルを最大限に生かす、その特性を軸にした地域分けも効果的なのではないか。各地域を尊重した施策の展開がオール鹿児島でのおもてなしに繋がるのではないかと思う。	「県内各地域の特性と施策の方向」の項目については、本県の各地域振興局・支庁が管轄する市町村ごとに県内を7つの地域に分け、それぞれの特性を整理し、施策の方向をお示ししたものです。 本県は、豊かな自然、歴史文化、食材など、多彩な魅力を有しており、御指摘のとおり、様々な切り口で地域分けを行うことができるものと考えられ、実際の取組においては、あらゆる形での地域間連携が重要であることから、御意見については、次期方針に基づく施策の実施に際し、参考とさせていただきます。
15	第5-3-3-1	全ての観光客がストレスなく快適に観光できる環境の整備	28	交通機関や多言語化に関する記載があるが、公共交通機関、特に海外の方の利用が多いバスは、観光地・施設への便数、バス停やバス路線図や行先などの多言語化が急務だと思う。	御指摘の「観光関連情報の多言語化」については、重要であると考えており、次期基本方針においては、「施策の展開」の中で、「観光関連情報の多言語化」を盛り込んでいます。 御意見については、次期方針に基づく施策の実施に際し、参考にさせていただきます。